

Japanese Course for Graduates (Shizuoka Campus) (Annual Report (2nd semester, 2018-1st semester, 2019) I Japanese Language Education)

メタデータ	言語: jpn 出版者: 公開日: 2020-03-16 キーワード (Ja): キーワード (En): 作成者: 熊井, 浩子 メールアドレス: 所属:
URL	https://doi.org/10.14945/00027173

年次報告（平成30年度後期・令和元年度前期）

I 日本語・日本事情教育

日本語研修コース（初級）・日本語補講

熊井 浩子

1. コースの概要

30年度後期（第36期）は、正規の研修生はおらず、ABP修士の2名とチェンマイ大学からの交換留学生1名、計3名が初級クラスを受講した。ABP修士は通常週4コマの日本語教育プログラムを受講するが、28年度後期・29年度後期に続きABP修士としては3例目となる。交換留学生は多少の日本語学習歴はあったが、和やかな雰囲気助け合って順調に学習を進めることができ、3人とも全学教育科目として15単位が認定された。

31年（令和元年度）前期は受講者が1名もいなかったため、15コマのうちの「日本語と文化」を日本語研修コース（初級）、他の4科目を日本語研修コース（中級）科目として単位が認定できる全学教育科目として静岡で開講した。残りの10コマのうち、2コマを静岡キャンパス、3コマを浜松キャンパスで補講授業として開講し、受講者には受講証が授与された。

2. 授業期間

日本語研修コース（第34期） 平成30年10月1日～平成31年2月8日 15週

日本語補講・「日本語と文化」 平成31年4月10日～令和元年8月1日 15週

3. 平成30年度後期 日本語研修コース（第34期）

3. 1. 受講者

クラス	受講者	国	所属・在籍身分
日本語1	1	インドネシア	総合科学技術大学院農学専攻（ABP修士）
	2	マレーシア	総合科学技術大学院農学専攻（ABP修士）
	3	タイ	人文社会科学部特別聴講学生（交換留学生）

3. 2. 時間割

日本語1

	月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日
1・2時限 8:40～10:10	基礎日本語	基礎日本語	基礎日本語	基礎日本語	基礎日本語
3・4時限 10:20～11:50	基礎日本語	基礎日本語	基礎日本語	基礎日本語	基礎日本語
5・6時限 12:45～14:15	漢字	作文	聴解	日本の生活	会話

3. 3. 授業内容

日本語 I (入門)

目標：日本語の基礎的な構造・表記を学び、日常生活における基本的なコミュニケーション力を身に付ける。

基礎日本語 10コマ/週

目的：日本語の基本的な構造・表記を理解し、日常的なコミュニケーションの基礎を身につける。

内容：初級文型の総合的なコミュニケーション練習

使用教材：『みんなの日本語 本冊』初級 I・II (スリーエーネットワーク)

『みんなの日本語 翻訳・文法解説 英語版』初級 I・II (同上)

『日本語かな入門 英語版』(国際交流基金)

会 話 1コマ/週

目的：既習項目を使って、日常生活のさまざまな場面で、いろいろな活動・コミュニケーションができるようになる。その活動をとおして、異文化の考え方・習慣を学ぶ。

内容：基礎日本語の既習事項の運用練習。

使用教材：『みんなの日本語 初級 I・II』本冊・DVD

聴 解 1コマ/週

目的：日本語の音声から必要な情報を得られるようになる。

日常生活において基本的なコミュニケーションができるようになる。

内容：CD・テープなどによる聞き取り練習。

使用教材：『聴解タスク 25』初級 I・II (スリーエーネットワーク)

『楽しく聞こう』(文化外国語専門学校) 等適宜

作文 1コマ/週

目的：既習の語彙や文型を文章の中で適切に使えるようにする。さまざまなテーマで作文を書くことによって、語彙・表現を増やす。

内容：全体的な構成を意識しながら、日常的なトピックについて作文を書く・文集作成

使用教材：『やさしい作文』（スリーエーネットワーク）

漢字 1コマ/週

目的：日常生活・勉学生活に必要な基本的漢字の読み書きを身につける。

日本語研修コース修了後も自分で学習を継続できるような漢字学習法を学ぶ。

内容：初級前半の漢字の読み・書き、読解

使用教材：『みんなの日本語 漢字 英語版』Vol.1（スリーエーネットワーク）

Basic Kanji Book VOL. 1（凡人社）

『みんなの日本語 初級で読めるトピック25』（スリーエーネットワーク）

日本語と文化 1コマ/週

目的：主に新規来日の学生を対象とする。スムーズに日本の生活に適應するため、基礎的な日本文化・社会に対する理解を深める。

内容：日本の文化・習慣など、日常生活で最低限必要なこと。見学などを随時行なう。

使用教材：適宜

4. 平成31年度・令和元年度前期 日本語補講・日本語研修コース

4. 1. 受講者

キャンパス	クラス	受講者数
静岡	日本語1	4
	日本語5	13
	日本語中級Ⅰ*	4
	日本語中級Ⅱ*	1
	日本語中級Ⅲ*	5
	日本語中級Ⅳ*	13
	日本語と文化*	11
浜松	日本語2	18
	日本語3（2コマ）	11

* 日本語研修コース科目

4. 2. 時間割

日本語補講・「日本語と文化」

	月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日
1・2時限 8:40～10:10		日本語補講1 (漢字)			日本語中級IV
3・4時限 10:20～11:50	日本語中級I		日本語中級II		日本語中級III
5・6時限 12:45～14:15		日本語補講2*	日本語補講5 (日本語総合)	日本語と文化 (日本の生活)	日本語補講3*
7・8時限 14:25～15:55	日本語補講3*				

*：浜松キャンパス

4. 3. 授業内容

日本語補講・日本語研修コース

目標：それぞれのレベルの日本語教育プログラムで学んだことをさらに発展させ、それぞれの技能を伸ばす。

●静岡キャンパス

【日本語研修コース】

日本語中級Ⅰ 1コマ/週

目的：中級レベルの漢字を身につける。
漢字語彙の学習。

内容：中級レベルの漢字と漢字語彙の学習

使用教材：『みんなの日本語Ⅱ 漢字 英語版』（スリーエーネットワーク）、
『Intermediate Kanji Book』VOL2（凡人社）など

日本語中級Ⅱ 1コマ/週

目的：日常生活（大学生活を含む）に役立つ会話ができる。

内容：文章を読み、文法練習をする。会話、聴解、作文の練習をする。

使用教材：『にほんご つぎの45じかん』（専門教育出版）

日本語中級Ⅲ 1コマ/週

目的：教室内外での活動を通して、総合的なコミュニケーション能力を身につける。

内容：意識調査やインタビューを基にした発表・イベントの計画（けいかく）・PV

作成などのプロジェクトワーク実施。

使用教材：『日本語おしゃべりのたね』（スリーエーネットワーク）

日本語中級Ⅳ 1コマ／週

目 的：文法項目や読解ストラテジーの学習を通して、JLPT N2レベルの日本語力を身につける。

内 容：N2対策

使用教材：『TRYトライ！日本語能力試験N2』（アスク出版）

【日本語補講】

日本語 1 1コマ／週

目 的：日常生活に必要な基本的漢字を身につける。

内 容：基本的な漢字と漢字語彙の学習

使用教材：『にほんご45じかん』（専門教育出版）・プリントなど

日本語 5 1コマ／週

目 的：かなり高度な読解力、聴解力を身につけ、JLPT・N1合格を目指す。

内 容：N1レベルの教材を用い、各自の弱点を補いつつ、さらに上級の日本語を身につける。

使用教材：適宜

日本語と文化 1コマ／週

目 的：日本の生活にスムーズに適応するために、日本社会に関わる様々な情報を得る。また、日本文化の体験学習を通じて、日本文化に対する造詣を深める。

内 容：(1)学習者の文化と比較しながら日本文化についての知識を深める。
(2)体験学習の実施により、具体的に日本文化に触れる。
(3)授業は基本的に英語で行われる。

使用教材：『日本事情入門』（アルク）

●**浜松キャンパス**

日本語 2 1コマ／週

目 的：日本語で簡潔にまとめ話す力をつける。

内 容：日本語で発表するための技能

使用教材：適宜

日本語 3 2コマ／週

目 的：日常生活に必要なレベル（N4、N3）の語彙、漢字を習得する。
習った知識を使って、文章を読めるようにする。

内 容：初級から中級にかけての漢字と漢字語彙の学習

漢字仮名交じり文の読解

使用教材：『漢字たまご 初中級』（凡人社）